

ブラジル下院特別委員会が年金改革法案を承認

- 下院特別委員会は、サムエル・モレイラ報告官が作成した年金改革法案を賛成多数で承認(賛成36票:反対13票)。
- モレイラ報告官は7月2日、10年間で1兆714億レアルの財政改善効果を見込む意欲的な年金改革案を示す。
- 今後の焦点は下院本会議での年金改革審議に移る。マイア下院議長は議会休会前に1回目の投票を行う姿勢を示す。
- 年金改革審議の最大のハードルである下院本会議を通過すれば、年金改革は成立に向けて審議が加速する可能性。

下院特別委員会は年金改革法案を承認

ブラジルの下院特別委員会は7月4日、サムエル・モレイラ報告官(下院議員)が作成した年金改革法案を賛成多数(賛成36票:反対13票)で承認しました。

7月2日に公表されたモレイラ報告官の年金改革提案では、10年間の財政改善効果が1兆714億レアルと意欲的な改革案が示されました(図1)。7月4日の承認までの過程で法案には一部修正がなされているものの、年金改革は1兆レアル前後の規模が維持されているとみられます。

下院特別委員会で承認された年金改革法案では、改革の根幹である一般労働者と連邦政府公務員の年金制度の厳格化は維持され、州・地方政府公務員や農村労働者など一部の改革については譲歩がされました(図2)。

図2: 下院特別委員会承認の年金改革法案の概要

- 一般労働者の年金受給開始年齢は男性は65歳、女性は62歳。最低拠出期間は男性20年、女性15年。
- 州・地方政府の公務員は年金改革の対象から除外。
- 勤労不可能な高齢者および障害者への継続扶助制度(BPC)は現行ルールのまま維持。
- 農村労働者は年金改革の対象から除外。
- 積立方式の年金制度の導入は見送り。

今後の焦点は下院本会議の年金改革審議に

下院特別委員会の承認を受けて、今後の焦点は下院本会議での年金改革審議に移ります(図3)。ロドリゴ・マイア下院議長は7月18日～7月31日の議会休会の前に、下院本会議の1回目の投票を行う姿勢を示しています。

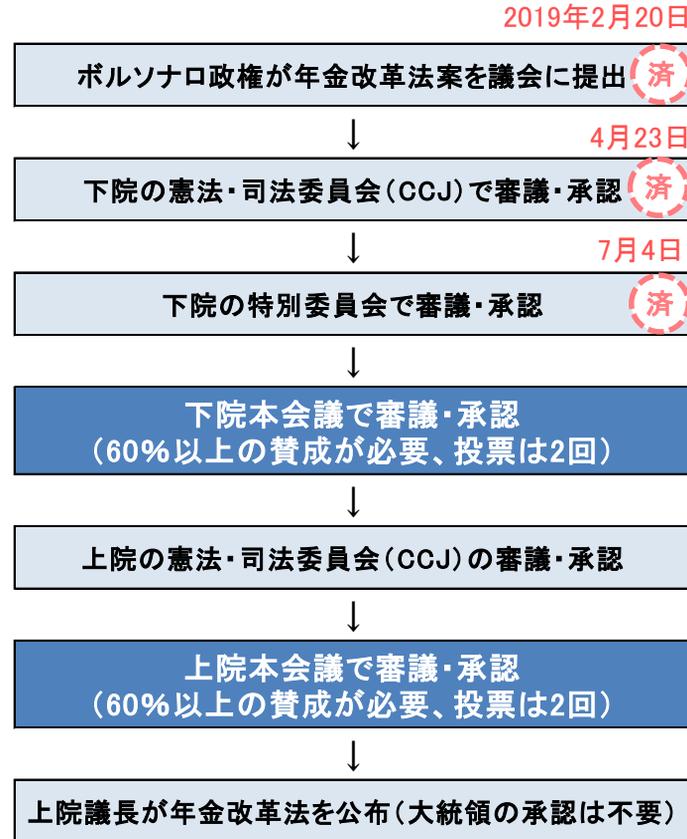
今後、年金改革審議の最大のハードルとみられている下院本会議を通過すれば、ブラジルの年金改革は成立に向けて審議が加速する可能性があります。

図1: ブラジルの年金改革案の規模

公表時期	年金改革案	10年間の財政改善効果
2019年2月20日	ボルソナロ政権の年金改革提案	1兆724億レアル
2019年4月25日	ボルソナロ政権の年金改革修正案	1兆2,365億レアル
2019年7月2日	下院特別委員会の年金改革提案(サムエル・モレイラ報告官案)	1兆714億レアル

(出所)各種報道

図3: ブラジルの年金改革の議会審議の手続き



(出所)各種報道

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。●当資料に記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。